

教育・研究業績書

センター名 大学病院 PET センター		
<教員の紹介>		
教 授 村 上 康 二		
<b>I 教育活動</b>		
<b>教育実践上の主な業績</b>	<b>年 月</b>	<b>概 要</b>
<b>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</b>		
1. 学生の授業参加意識の向上の取り組み	2005年5月～現在	授業においては鮮明な読影画像を多く用い、学生がより分かりやすく尚且つ興味がわくように努力している。(放射線医学、検査医学) 授業評価アンケートに基づき、より理解しやすい内容となるよう改善している。
2. 学生による授業評価の活用	2005年5月～現在	内容となるよう改善している。
<b>② 作成した教科書、教材、参考書</b>		
新臨床腫瘍学 肺癌診療マニュアル 見て診て学ぶ肺癌の画像診断 Annual Review 消化器 PET-CT 画像診断マニュアル	2006年10月 2006年10月 2007年7月 2008年1月 2008年4月	放射線医学 画像診断学 (PET) の参考資料および検査医学 放射線診断学 (PET) の参考資料として活用している。
<b>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</b>		
青葉画像研究会講演 腹部放射線研究会講演 千葉ベイシティ・カンファレンス講演 第98回日本消化器病学会北陸支部例会講演 山梨核医学診療研究会講演 千葉乳腺疾患研究会講演 核医学会関東地方会講演	2004年5月 2004年5月 2004年6月 2004年6月 2004年6月 2004年6月 2004年7月	PET は、がんの診断をどのように変えるか？ -スクリーニング殻治療効果判定まで- の内容で講演した。 骨髄にびまん性変化を認めた G-CSF 産生退形成性膵癌の一例の内容で講演した。 PET-CT の臨床応用の内容で講演した。 消化器腫瘍における FDG-PET の有用性と将来展望の内容で講演した。 腫瘍診断における PET の有用性と将来展望の内容で講演した。 乳腺疾患における FDG-PET の有用性の内容で講演した。 PET-CT の使用経験と有用性の検討の内容で講演した。

第5回腫瘍核医学セミナー講演	2004年7月	腫瘍診断におけるPET-CTの有用性と問題点の内容で講演した。
第24回核医学技術学会総会講演	2004年7月	形態画像と機能画像の融合-CT/PETの有用性とその問題点-の内容で講演した。
GE Advanced Imaging Seminar 講演	2004年7月	PET-CTの臨床的有用性について講演した。
第7回肺がん画像セミナー	2004年8月	臨床に役立つPET診断の知識の内容で講演した。
朝日がんセミナーシンポジウム講演	2004年9月	がん診断(PET)の内容で講演した。
自治医科大学消化器内科学教室同門会講演	2004年9月	PETによる腫瘍診断の現状と将来展望-消化器腫瘍を中心に-の内容で講演した。
GE PET/CT and Functional Imaging Seminar 2004 in Hokuriku 講演	2004年10月	PET/CTの臨床的有用性の内容で講演した。
GE Healthcare 最新技術セミナー	2004年10月	PET/CTの臨床的有用性の内容で講演した。
第6回つきじ放射線研究会講演	2004年10月	PET/CTを10倍使いこなす法で講演した。
第45回日本肺癌学会総会講演	2004年10月	FDG-PETの基礎と肺がんへの臨床応用の内容で講演した。
第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会講演	2004年10月	腫瘍診断におけるPET/CTの臨床応用の内容で講演した。
第42回日本癌治療学会総会講演	2004年10月	PET-CTのがん治療への臨床応用-FDGを中心に-の内容で講演した。
GE Healthcre PET User's Meeting 講演	2004年11月	PET/CTが有用であった症例発表を行った。
第44回日本核医学会総会講演	2004年11月	PET-CTによる上肢挙上撮影法の検討の内容で講演した。
第44回日本核医学会総会シンポジウム講演	2004年11月	消化器がんの治療においてFDG-PETはどのような影響を与えるか?の内容で講演した。
中華民国核医学学会講演	2004年11月	Radiology Based Training of CT image reading for PET/CT Practiceの内容で講演した。
病理研究会市民講座講演	2004年11月	大腸がんのPET・CT・MRIの組み合わせによる診断についての内容で講演した。
ライラック研究会講演	2004年11月	PET-CTによる腫瘍診断の現状と将来展望の内容で講演した。
ACCJ 講演	2004年12月	PET/CTの臨床的有用性-Clinical effectiveness of PET/CT-の内容で講演した。
PET 研修セミナー講演	2005年1月	がんのFDG-PETの読影の実際の内容で講演した。
こまばイメーシングカンファレンス講演	2005年2月	PETおよびPET/CTの臨床における有用性-がん診断を中心に-の内容で講演した。
けやき GI カンファレンス講演	2005年2月	FDG-PETの基礎と消化器腫瘍への臨床応用の内容で講演した。

神奈川肺癌講演会	2005年2月	ポジトロン(PET)の基礎とがん診断への応用-肺癌を中心に-の内容で講演した。
第24回日本画像医学会講演	2005年2月	PET/CTの基礎と臨床応用の内容で講演した。
神戸 Biomedical Engineering 講座講演	2005年2月	PET/CTによる読影と診断の内容で講演した。
第10回北摂肺がん治療フォーラム講演	2005年3月	肺癌診断におけるPETおよびPET/CTの現状と将来展望の内容で講演した。
脳研セミナー講演	2005年3月	PET/CTの腫瘍診断における現状と将来展望の内容で講演した。
戸田中央病院講演	2005年3月	FDG-PETの基礎と腫瘍診断への臨床応用の内容で講演した。
山形デジタル画像セミナー講演	2005年3月	腫瘍診断におけるPET/CTの臨床応用の内容で講演した。
第22回日本核医学技術学会関東地方会総会講演	2005年5月	がん診断におけるPET/CTの有用性-基礎から臨床応用まで-の内容で講演した。
第13回レイクサイドカンファレンス講演	2005年5月	消化器診断におけるPET/CTの応用の内容で講演した。
第46回日本臨床細胞学会総会春期大会ランチョンセミナー講演	2005年5月	PET-CTの基礎と癌診断・治療への応用の内容で講演した。
第11回公開がん診療研修会講演	2005年6月	がん診療におけるPETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
PET診断の基礎と臨床応用講演	2005年6月	PET診断の基礎と臨床応用の内容で講演した。
泉大津医師会学術講演会講演	2005年6月	FDG-PETの臨床応用-PETからPET/CTまで-の内容で講演した。
第15回呼吸器画像フォーラム講演	2005年7月	肺癌のMolecular Imagingの内容で講演した。
第18回臨床核医学研究会講演	2005年7月	PET/CTの基礎と腫瘍診断への臨床応用の内容で講演した。
栃木みのはな外科懇話会講演	2005年7月	外科診療におけるFDG-PETの有用性と将来展望の内容で講演した。
学術講演会	2005年7月	ぜひ知っておきたい画像診断の進歩-CT, MR, PETは診療にこのように利用するとよい-の内容で講演した。
栃木画像診断研究会特別セミナー講演	2005年7月	FDG-PETの腫瘍診断への臨床応用-頸部腫瘍を中心に-の内容で講演した。
第58回NPO法人先端医療福祉開発研究会講演	2005年7月	がん診断におけるPETの臨床応用の内容で講演した。
臨床研修医のための画像診断セミナー講演	2005年8月	PETの臨床応用とMolecular Imagingの将来展望の内容で講演した。
シーメンス 第2回PET/CTサロン講演	2005年9月	PET/CT読影の内容で講演した。

学術講演会	2005年9月	がん診療におけるPETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
第64回日本癌学会学術総会講演	2005年9月	新しい画像診断の実際の内容で講演した。
第116回筑後CT・MRI研究会特別講演会講演	2005年9月	PET/CTの基礎と臨床応用の内容で講演した。
野田市医師会学術講演会講演	2005年9月	最近の画像診断の進歩の内容で講演した。
第45回二本核医学会総会市民公開講座講演	2005年10月	PETによってがん治療はこう変わる の内容で講演した。
公開医療講座	2005年10月	新しい画像診断PETで分かること、分からないこと の内容で講演した。
PET学術講演会	2005年10月	FDG-PET検査の腫瘍診断における臨床的有用性の内容で講演した。
放射線診断治療学教室平成17年度同門会講演（金沢医科大学放射線診断治療学教室	2005年10月	がん診断におけるPET/CTの有用性の内容で講演した。
第4回塩谷医療連携交流会講演	2005年10月	がん診療におけるPETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
山王病院学術講演会講演	2005年10月	PET-CTのがん診療における臨床応用とがん検診の現状の内容で講演した。
第21回Japan Immunology Seminar講演	2005年10月	PETによるMolecular Imagingの現状と将来展望の内容で講演した。
第31回栃木県獨協医学会講演	2005年10月	ポジトロンCT (PET)の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第16回ソニックCTカンファレンスプログラム講演	2005年10月	がん診断におけるPET-CTの有用性と将来展望の内容で講演した。
第68回卒後教育セミナー講演	2005年11月	PET-CT(消化管,リンパ節)の内容で講演した。
宇都宮市医師会がん診療セミナー講演	2005年11月	癌診療とPETの内容で講演した。
第1回獨協医科大学病院 連携医療懇話会総会講演	2005年11月	がん診療におけるPETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
日本放射線腫瘍学会第18回学術大会講演	2005年11月	PET-CTによる放射線治療への応用の内容で講演した。
第46回日本肺癌学会総会ランチョンセミナー講演	2005年11月	肺癌診療におけるFDG-PETの有用性の内容で講演した。
第5回放医研重粒子医科学センターシンポジウム講演	2005年12月	PET/CTによるがん診断とその治療応用の内容で講演した。
真壁郡市医師会病院講演会講演	2006年1月	FDG-PETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
第1回小山市民病院病診・病病連携勉強会講演	2006年1月	がん診断におけるPETの基礎と臨床応用の内容で講演した。
第17回消化器機能画像研究会講演	2006年2月	PET/CTの有用性と3D-fusion画像への臨床応用の内容で講演した。

第 39 回宮崎核医学研究会講演	2006 年 2 月	腫瘍診断における PET/CT の有用性の内容で講演した。
第 14 回クリニカルビデオフォーラム講演	2006 年 2 月	消化器がんにおける PET/CT の有用性の内容で講演した。
第 25 回埼玉大腸疾患研究会講演	2006 年 2 月	大腸腫瘍における PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 2 回日本消化管学会総会学術集会講演	2006 年 2 月	消化器がんにおける PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
山形県医師会呼吸器検診研究会講演	2006 年 3 月	FDG-PET の基礎とがん検診における現況の内容で講演した。
第 1 回北関東クリニカル PET フォーラム講演	2006 年 3 月	PET/CT を 100 倍使いこなす法の内容で講演した。
第 65 回日本医学放射線学会学術集会講演	2006 年 4 月	大腸癌と放射線医療の内容で講演した。
第 5 回頭頸部腫瘍フォーラム講演	2006 年 4 月	頭頸部腫瘍における FDG-PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 30 回埼玉県消化器内視鏡講習会講演	2006 年 4 月	消化器疾患における PET (PET/CT) の基礎と臨床応用の内容で講演した。
石橋総合病院連携医療懇話会講演	2006 年 5 月	がん診断における FDG-PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
美作医会学術講演会講演	2006 年 5 月	がん診断における FDG-PET の役割-スクリーニングから治療効果判定まで-の内容で講演した。
第 6 回日本核医学会 PET 研修セミナー講演	2006 年 5 月	がんの PET/CT の読影の実際の内容で講演した。
第 46 回日本呼吸器学会学術講演会講演	2006 年 6 月	肺癌診療における役割と今後の可能性の内容で講演した。
第 24 回小石川消化器病フォーラム講演	2006 年 6 月	消化器がんにおける FDG-PET の臨床応用の内容で講演した。
第 26 回岩手核医学懇話会講演	2006 年 6 月	消化器がんにおける FDG-PET の臨床応用の内容で講演した。
第 111 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会講演	2006 年 6 月	婦人科腫瘍における PET の基礎と臨床応用-保険適用になった FDG をどう使うか-の内容で講演した。
「くらしと社会・健康セミナー」第 3 回現代医療事情栃木県民カレッジ公開講座講演	2006 年 6 月	最新機器による画像診断の内容で講演した。
自治医科大学大宮医療センター講演	2006 年 6 月	FDG-PET の臨床的有用性についての内容で講演した。
松江日赤病院講演会	2006 年 6 月	がん診断における PET/CT の有用性の内容で講演した。

厚生労働省がん研究助成金平成 18 年度 第 1 回班会議発表	2006 年 7 月	[ポジトロン CT のがん診断への応用と診断精度向上に関する研究]ゼータ電位を用いたエンドトキシン除去フィルターの検討で講演した。
第 4 回北海道 PET 研究会講演	2006 年 7 月	PET/CT を 100 倍活用する法の内容で講演した。
第 4 回北海道 PET 研究会講演	2006 年 7 月	シーメンス社 Biography の使用経験 で講演した。
FDG-PET 学術講演会講演	2006 年 7 月	FDG-PET の基礎とがん診断における臨床応用の内容で講演した。
半田市立半田病院講演会講演	2006 年 7 月	がん診療における FDG-PET の役割-病期診断から治療効果判定まで-の内容で講演した。
第 2 回 Imaging Now in Kanagawa 講演	2006 年 7 月	PET/CT を 100 倍活用する法の内容で講演した。
第 8 回川崎医科大学 PET セミナー講演	2006 年 7 月	消化器領域における PET/CT の臨床応用の内容で講演した。
平成 18 年度島根大学医学部消化器・ 肝臓内科同門会・開講記念会講演	2006 年 7 月	FDG-PET の基礎と消化器疾患への応用の内容で講演した。
第 6 回東北三省放射学会講演 (長春)	2006 年 8 月	Invited lecture; advancement of pancreatic imaging -the front line of MD-CT, MRI, PET. の内容で講演した。
第 7 回 JSAWI 講演	2006 年 9 月	婦人科腫瘍における PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 14 回信州核医学研究会講演	2006 年 9 月	消化器腫瘍における FDG-PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 23 回文京消化器内視鏡研究会講演	2006 年 9 月	消化器腫瘍における PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 3 回 FDG-PET 読影セミナー講演	2006 年 9 月	消化器がんにおける FDG-PET の臨床応用へそ曲がりのあなたに贈る肝胆膵の読影-の内容で講演した。
第 11 回東海腫瘍核医学研究会講演	2006 年 9 月	PET/CT の腫瘍診断への臨床応用の内容で講演した。
北葛飾南部医師会学術講演会講演	2006 年 9 月	がん診断における FDG-PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
9th WCNMB in Coex 講演 (ソウル)	2006 年 10 月	Invited lecture; PET/CT guided radiation therapy planning and respiratory gating. の内容で講演した。
PET 学術講演会講演	2006 年 10 月	がん診断における FDG-PET の基礎と臨床応用の内容で講演した。
兵庫医科大学病院 PET センター竣工記念講演	2006 年 10 月	悪性腫瘍における PET/CT の基礎と臨床応用の内容で講演した。

第 42 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 講演	2006 年 10 月	形態画像診断と機能画像診断の融合 PET/CT 腹部領域 の内容で講演した。
06' IAEA Regional Training Course	2006 年 10 月	Educational lecture; PET application to pelvic tumors (Colon, rectum, GU system). の内容で 講演した。
鳥取県東部医師会学術講演会講演	2006 年 11 月	PET/CT の基礎と腫瘍診断への臨床応用の内容で 講演した。
第 46 回日本核医学会学術総会講演	2006 年 11 月	PET/CT のがん診断における役割-特に造影PET/CT の有用性について-講演した。
第 14 回大腸 ONCOLOGY 研究会講演	2006 年 11 月	大腸がんにおける PET の臨床応用と将来展望の内 容で講演した。
第 430 回日本医学放射線学会関東地方会 ランチョンセミナー講演	2006 年 11 月	地域がん診療拠点病院における PET/CT の役割の 内容で講演した。
恵寿総合病院市民公開講座講演	2006 年 12 月	最新のがん診断「PET 検査」で何がわかるの？ の内容で講演した。
がん研究中間発表会	2007 年 1 月	班研究の中間報告を行った。
PET 学術講演会講演	2007 年 1 月	FDG-PET 検査の基礎から臨床応用の内容で講演 した。
板橋区医師会消化器病研究会	2007 年 1 月	消化器がんにおける FDG-PET の基礎と臨床応用の 内容で講演した。
PET-CT 学術講演会	2007 年 1 月	最新のがん診断 PET-CT 検査で何がわかるの？ の内容で講演した。
大腸癌領域における最先端の診断と治療の 応用研究会講演	2007 年 2 月	画像診断の最近の進歩の内容で講演した。
第 16 回 宮城県核医学研究会講演	2007 年 3 月	PET-CT の臨床的有用性-CT 造影剤を用いて-の内 容で講演した。
第 59 回日本産科婦人科学会総会・ 学術講演会 ランチョンセミナー講演	2007 年 4 月	これだけは知っておきたい婦人科腫瘍における PET 検査の内容で講演した。
第 7 回日本核医学会春季大会 PET 研修 セミナー講演	2007 年 5 月	がんの PET/CT の読影の実際について講演した。
第 32 回老年消化器病研究会講演	2007 年 6 月	消化器疾患の PET 診断の内容で講演した
厚生労働省がん研究助成金村上班 平成 19 年度第一回班会議発表	2007 年 7 月	[ <sup>18</sup> O] H <sub>2</sub> O再利用に関する調査-FDG合成に関して- 並びにFDG合成に用いる他 [ <sup>18</sup> O] H <sub>2</sub> Oメーカー別比 較検討-合成・品質管理の立場から-の内容で 講演した。
第二回熊本核医学フォーラム講演	2007 年 7 月	PET/CT のがん診断への臨床応用で講演した。
シーメンス第 4 回 PET/CT サロン講演	2007 年 9 月	PET/CT 読影-腹部-の内容で講演した。

EANM' 07 講演 (デンマーク)	2007 年 10 月	PET/CT Gastrointestinal Cancer 2. の内容で講演した。
RSNA2007 北米放射線学会講演 (シカゴ)	2007 年 11 月	The Clinical Usefulness and Limitations of Full Dose Contrast -enhanced Integrated PET/CT in Gynecologic Malignancies: Case Examples の内容で講演した。
第 80 回日本胃癌学会総会シンポジウム講演	2008 年 2 月	胃癌における画像診断の進歩: PET-CT の内容で講演した。
市民公開講座がん情報提供の会講演	2008 年 3 月	がんを診断するとき、PET はどうやって使うといいの? の内容で講演した。
第 67 回日本放射線学会総会シンポジウム講演	2008 年 4 月	肝細胞癌の診断と治療: 最新動向と将来展望 3. PET の内容で講演した。
第 67 回日本放射線学会総会学術発表	2008 年 4 月	大腸疾患における PET/CT を用いた仮想腹腔鏡の有用性の検討の内容で講演した。
放射線診断医・核医学医のための エキスパートに学ぶ PET-CT 読影実践 セミナー講演	2008 年 4 月	造影 PET-CT の基礎と臨床応用の内容で講演した。
第 6 回岡山大腸疾患フォーラム 特別講演	2008 年 4 月	大腸疾患における PET/CT の有用性についての内容で講演した。
鎌ヶ谷総合病院 PET 講演会講演	2008 年 5 月	最新の画像診断 PET/CT を知ろう-PET/CT でわかることわからないこと-の内容で講演した
第 106 回日本消化器病学会北陸支部例会ラ ンチョンセミナー講演	2008 年 6 月	消化器腫瘍における FDG PET/CT の有用性の内容で講演した。
第 34 回肺癌診断会および画像診断セミナー 講演	2008 年 6 月	肺癌の画像診断 (胸部単純写真から PET-CT まで) の内容で講演した。
第 24 回青森核医学研究会講演	2008 年 7 月	がん診断における PET/CT の意義と最近の話題の内容で講演した。
朝日がんセミナー「がんと向き合って 生きる」講演	2008 年 8 月	がんの最新診断「PET」でわかること、わからないこと の内容で講演した。
第 31 回佐野市健康大学講座講演	2008 年 9 月	PET 検査でわかること の内容で講演した。
第 4 回杭州国際分子イメージング研究会 講演 (中国 杭州)	2008 年 9 月	Cancer screening by using FDG-PET; Current status in Japan の内容で講演した。
第 47 回兵庫県核医学研究会 特別講演 文部科学省「眼プロフェッショナル養成プ ラン」選択事業 全人的ながん医療の実践 者養成講演	2008 年 10 月	腫瘍診療における PET/CT の有用性と今後の展開の内容で講演した。
自治医科大学講演	2008 年 10 月	臨床腫瘍学 がん画像診断の最前線の内容で講演した。



第 29 回 Radiology Update Fukuoka 学術講演会講演	2008 年 10 月	肺癌における PET/CT の臨床応用の内容で講演した。
第 44 回日本医学放射線学会秋季臨床 大会講演	2008 年 10 月	保険適応外疾患の FDG-PET 所見 悪性腫瘍の内容で講演した。
第 19 回呼吸器核医学研究会講演	2008 年 10 月	最近の呼吸器核医学文献レビューの内容で 講演した。
第 48 回日本核医学会学術総会講演	2008 年 10 月	PET/CT による腫瘍鑑別診断の内容で講演した。
第 44 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 研修医セミナー講演	2008 年 11 月	(6)PET (核医学) 悪性腫瘍の PET 診断 の内容で 講演した。
Grando-Conference 講演	2008 年 11 月	がん診断・治療効果判定における PET の使い方 の内容で講演した。
第 25 回消化器内科例会 特別講演	2008 年 12 月	消化器腫瘍における PET/CT の臨床応用の内容で 講演した。
腫瘍放射線講演会 in 岐阜講演	2008 年 12 月	がん診断における FDG-PET の役割と将来展望の内 容で講演した。
千葉県がんセンター講演	2009 年 1 月	がん診療における FDG-PET の役割の内容で講演 した。
Ⅲ期生病診連絡勉強会講演	2009 年 2 月	腫瘍診断における PET の有用性-PET でわかるこ と、わからないこと の内容で講演した。
第 34 回埼玉核医学研究会講演	2009 年 4 月	PET/CT を癌診断に生かす 7 ヶ条教えます の内容で講演した。

## 教育・研究業績書

センター名	職名	氏名	
大学病院 PET センター	教授	村上 康二	大学院の研究指導担当資格 有
II 学会等および社会における主な活動			
1986年～現在	日本医学放射線学会員		
1986年～現在	日本核医学会員 日本核医学会評議員 米国核医学会員		
1986年～現在	日本癌治療学会員 日本消化器病学会員		
2008年6月～現在	日本膵臓学会員		
1989年～現在	北米放射線学会員 日本磁気共鳴医学会員 日本画像医学会員		
2008年12月～現在	日本アイソトープ協会員		
2009年1月～現在	日本呼吸機能イメージング研究会員		
2009年6月～現在	日本大腸肛門病学会員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著書】			
和文			
1. <u>村上康二</u> : 6) 再発がんのPETによる診断 大腸・肛門外科の要点と盲点第2版 幕内雅敏 監, 文光堂pp64-68, 2004.			
2. 中島寛人, <u>村上康二</u> , 縄野繁: 検査を安全に行うためには-MRI- 加藤治文, 西條長宏 監, 肺癌診療を安全に行うために 中外医学社, 2006.			
3. <u>村上康二</u> : 消化器疾患-state of arts 1, 消化管(食道・胃・腸) Ver.3 画像診断の進歩: PET. 別冊・医学のあゆみ 医歯薬出版, pp265-269, 2006.			
4. <u>村上康二</u> : 第4章 肺癌の診断 B. 核医学診断(PET) 江口研二編集 肺癌診療マニュアル 中外医学社, pp61-69, 2006.			
5. <u>村上康二</u> : 7. 画像診断(CT、MRI、PET、超音波診断) 日本臨床腫瘍学会編, 新臨床腫瘍学 南江堂, pp167-173, 2006.			
6. 山崎英玲奈, 萩原信悟, <u>村上康二</u> : CHAPTER2 乳がんの検査・診断 PET(陽電子放射断層撮影検査) Nursing Mook 阿部恭子, 矢形 寛 編 乳がん患者ケアガイド 学習研究社, pp40-44, 2006.			
7. <u>村上康二</u> : FDG-PETによる肺癌診断 北村諭, 工藤翔二, 石井良樹 編, 別冊: 医学のあゆみ 呼吸器疾患 Ver.5 医歯薬出版, pp100-102, 2007.			
8. <u>村上康二</u> : FDG-PET/CTの読影ピットフォール 本田憲業 編, 見て診て学ぶ肺癌の画像診断 永井書店, pp135-143, 2007.			
9. <u>村上康二</u> : 消化器がん診断におけるFDG-PET林紀夫他編, Annual Review 2008 消化器, 中外医学社pp61-66, 2007.			

10. 村上康二: 4. 造影PET-CT総論 村上康二編, PET-CT 画像診断マニュアル 中外医学社, pp39-45, 2008.
11. 村上康二: 7. 腹部、骨盤部 C-1. 食道 村上康二編, PET-CT 画像診断マニュアル 中外医学社, pp181-189, 2008.
12. 村上康二: 7. 腹部、骨盤部 C-2. 大腸 村上康二編, PET-CT 画像診断マニュアル 中外医学社, pp190-200, 2008.
13. 村上康二: クリニカルPET/CTの新たな応用 PET/CT Book, デジタルメディスン編 デジタルメディスン社, pp19-23, 2008.
14. 村上康二: <sup>18</sup>F-FDG PETは孤立性肺結節の鑑別診断に有用か. <sup>18</sup>F-FDG PET/CTは孤立性肺結節の鑑別診断に有用か. 科学的根拠に基づく呼吸器核医学診断 (診療) ガイドライン 日本核医学会 分科会 呼吸器核医学研究会 呼吸器核医学診断ガイドライン作成委員会 編 発行, pp74-76, 2008.
15. 村上康二: <sup>18</sup>F-FDG PETは肺癌の病期診断・再発診断に有用か. 科学的根拠に基づく呼吸器核医学診断 (診療) ガイドライン 日本核医学会 分科会 呼吸器核医学研究会 呼吸器核医学診断ガイドライン作成委員会 編 発行, pp77-79, 2008.
16. 村上康二: <sup>18</sup>F-FDG PETによる肺癌縦隔リンパ節転移の診断精度は胸部CTより優れているか. 科学的根拠に基づく呼吸器核医学診断 (診療) ガイドライン 日本核医学会 分科会 呼吸器核医学研究会 呼吸器核医学診断ガイドライン作成委員会 編 発行, pp80-85, 2008.
17. 村上康二: <sup>18</sup>F-FDG PETは肺癌放射線治療計画に役立つか. 科学的根拠に基づく呼吸器核医学診断 (診療) ガイドライン 日本核医学会 分科会 呼吸器核医学研究会 呼吸器核医学診断ガイドライン作成委員会 編 発行, pp86-87, 2008.

#### 【原 著】

##### 欧文

1. Kuroki S, Nasu K, Murakami K, Hayashi T, Sekiguchi R, Nishida H, Miyagawa K, Kuroki Y, Nawano S: Thymic MALT lymphoma ; MR imaging findings and their correlation with histopathological findings on four cases. Clinical Imaging 28: 274-277, 2004.
2. Kuroki, Nasu K, Kuroki S, Murakami K, Hayashi T, Sekiguchi R, Nawano S: Diffusion-weighted imaging of breast cancer with the sensitivity encoding technique: analysis of the apparent diffusion coefficient value. Magnetic Resonance in Medical Sciences 3: 79-85, 2004.
3. Nasu K, Kuroki Y, Kuroki S, Murakami K, Nawano S, Moriyama N: Optimization of Gd-DTPA-enhanced balanced turbo field echo sequence in abdominal imaging: clinical application. Magnetic Resonance in Medical Science 3: 73-77, 2004.
4. Nasu K, Kuroki Y, Kuroki S, Murakami K, Nawano S, Moriyama N: Optimization of Gd-DTPA-enhanced balanced turbo field echo sequence in abdominal imaging: a basic study. Magnetic Resonance in Medical Sciences 3: 65-72, 2004
5. Imoto S, Wada N, Murakami K, Hasebe T, Ochiai A, Ebihara S: Prognosis of breast cancer patients treated with sentinal node biopsy in Japan. Japanese Journal of Clinical Oncology. 34: 452-456, 2004.
6. Nasu K, Kuroki Y, Kuroki S, Murakami K, Nawano S, Moriyama N: Diffusion-weighted single shot echo planar imaging of colorectal cancer using a sensitivity-encoding technique. Japanese Journal of Clinical Oncology. 34: 620-626, 2004.
7. Inagaki M, Matsuoka Y, Sugahara Y, Nakano T, Akechi T, Fujimori M, Imoto S, Murakami K, Uchitomi Y:

- Hippocampal volume and first major depressive episode after cancer diagnosis in breast cancer survivors. *American Journal of Psychiatry*. 161: 2263-2270, 2004.
8. Takamochi K, Yoshida J, Murakami K, Niho S, Ishii G, Nishimura M, Nishiwaki Y, Suzuki K, Nagai K: Pitfalls in lymph node staging with positron emission tomography in non-small cell lung cancer patients. *Lung Cancer* 47: 235-242, 2005.
  9. Nishio T, Sato T, Kitamura H, Murakami K, Ogino T: Distributions of beta+decayed nuclei generated in the CH<sub>2</sub> and H<sub>2</sub>O targets by the target nuclear fragment reaction using therapeutic MONO and SOBP proton beam. *Medical Physics* 32: 1070-1082, 2005.
  10. Yoshikawa E, Matsuoka Y, Inagaki M, Nakano T, Akechi T, Kobayakawa M, Fujimori M, Nakaya N, Akizuki N, Imoto S, Murakami K, Uchitomi Y: No adverse effects of adjuvant chemotherapy on hippocampal volume in Japanese breast cancer survivors. *Breast Cancer Research & Treatment* 92: 81-84, 2005.
  11. Kosugi C, Ono M, Saito N, Sugito M, Ito M, Murakami K, Sato K, Kotaka M, Nomura S, Arai M, Kobatake T: Port site recurrence diagnosed by positron emission tomography after laparoscopic surgery for colon cancer. *Hepato-Gastroenterology* 52: 1440-1443, 2005.
  12. Yoshikawa E, Matsuoka Y, Yamasue H, Inagaki M, Nakano T, Akechi T, Kobayakawa M, Fujimori M, Nakaya N, Akizuki N, Imoto S, Murakami K, Kasai K, Uchitomi Y: Prefrontal cortex and amygdala volume in first minor or major depressive episode after cancer diagnosis. *Biological Psychiatry* 59: 702-712, 2006.
  13. Matsuoka Y, Nagamine M, Inagaki M, Yoshikawa E, Nakano T, Akechi T, Kobayakawa M, Hara E, Imoto S, Murakami K, Uchitomi Y: Cavum septi pellucidi and intrusive recollections in cancer survivors. *Neuroscience Research* 56: 344-346, 2006.
  14. Inagaki M, Yoshikawa E, Matsuoka Y, Sugawara Y, Nakano T, Akechi T, Wada N, Imoto S, Murakami K, Uchitomi Y: (and The Breast Cancer Survivor's Brain MRI Database Group) Smaller Regional Volumes of Brain Gray and White Matter Demonstrated in Breast Cancer Survivors Exposed to Adjuvant Chemotherapy. *Cancer* 109: 146-156, 2007.
  15. Kawada K, Murakami K, Sato T, Kojima Y, Ebi H, Mukai H, Tahara M, Shimokata K, Minami H: Prospective study of positron emission tomography for evaluation of the activity of lapatinib, a dual inhibitor of the ErbB1 and ErbB2 tyrosine kinases, in patients with advanced tumors. *Jpn J Clin Oncol* 37: 44-48, 2007.
  16. Shimoda W, Hayashi M, Murakami K, Oyama T, Sunagawa M: The relationship between FDG uptake in PET scans and biological behavior in breast cancer. *Breast cancer* 14: 260-268, 2007.
  17. Inagaki M, Yoshikawa E, Kobayakawa M, Matsuoka Y, Sugawara Y, Nakano T, Akizuki N, Fujimori M, Akechi T, Kinoshita T, Furuse J, Murakami K, Uchitomi Y: Regional cerebral glucose metabolism in patients with secondary depressive episodes after fatal pancreatic cancer diagnosis. *J Affect Disorder* 99: 231-236, 2007.
  18. Zytoon AA, Murakami K: Head and Neck Cancer: Comparative Evaluation by CT, MRI and FDG-PET. *Dokkyo Journal of Med Science* 34: 179-192, 2007.
  19. Niho S, Fujii H, Murakami K, Nagase S, Yoh K, Goto K, Ohmatsu H, Kubota K, Sekiguchi R, Nawano S, Saijo

- N, Nishiwaki Y: Detection of unsuspected distant metastases and/or regional nodes by FDG-PET in LD-SCLC scan in apparent limited-disease small-cell lung cancer. *Lung Cancer* 57: 328-333, 2007.
20. Zytoon AA, Ishii H, Murakami K, El-Kholy MR, Furuse J, El-Dorry A, El-Malah A: Recurrence-free survival after radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma. A registry report of the impact of risk factors on outcome. *Japanese Journal of Clinical Oncology* 37: 658-672, 2007.
  21. Hakamata Y, Matsuoka Y, Inagaki M, Nagamine M, Hara E, Imoto S, Murakami K, Kim Y, Uchitomi Y: Structure of orbitofrontal cortex and its longitudinal course in cancer-related post-traumatic stress disorder. *Neuroscience Research* 59: 383-389, 2007.
  22. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Hagiwara S, Fukasawa I, Inaba N, Kaji Y, Sugimura K: Performance of FDG-PET/CT in the diagnosis of recurrent endometrial cancer. *Annals of Nuclear Medicine* 22: 103-109, 2008.
  23. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Kaji Y, Sugimura K: Standardized uptake value of uterine leiomyoma with 18F-FDG PET/CT: variation with age, size, degeneration, and contrast enhancement on MRI. *Annual of Nuclear Medicine* 22: 505-512, 2008.
  24. Kosugi C, Saito N, Murakami K, Ochiai A, Koda K, Ono M, Sugito M, Ito M, Oda K, Seike K, Miyazaki M: Positron emission tomography for preoperative staging in patients with locally advanced or metastatic colorectal adenocarcinoma in lymph node metastasis. *Hepatogastroenterology* 55: 398-402, 2008.
  25. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Hagiwara S, Fukasawa I, Inaba N, Kaji Y, Sugimura K: Performance of FDG-PET/CT in the diagnosis of recurrent endometrial cancer. *Ann Nucl Med* 22: 103-109, 2008.
  26. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Domeki Y, Kaji Y, Fukasawa I, Inaba N, Sukanuma N, Sugimura K: Diagnostic accuracy of integrated FDG-PET/contrast-enhanced CT in ovarian cancer: comparison with enhanced CT. *Eur J Nucl Med Mol Imaging* 35: 1912-1920, 2008.
  27. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Domeki Y, Inaba N, Kaji N, Sugimura K: Performance of FDG-PET/CT for diagnosis of recurrent uterine cervical cancer. *Eur Radiol* 18: 2040-2047, 2008.
  28. Kitajima K, Murakami K, Yamasaki E, Fukasawa I, Inaba N, Kaji Y, Sugimura K: Accuracy of 18F-FDG PET/CT in detecting pelvic and paraaortic lymph node metastasis in patients with endometrial Cancer. *AJR* 190: 1652-1658, 2008.
  29. Hara E, Matsuoka Y, Hakamata Y, Nagamine M, Inagaki M, Imoto S, Murakami K, Kim Y, Uchitomi Y: Hippocampal and amygdalar volumes in breast cancer survivors with posttraumatic stress disorder. *J Neuropsychiatry Clin Neurosci* 20: 302-308, 2008.
  30. Zytoon AA, Murakami K, M. R. El-Kholy, E. El-Shorbagy: Dual time point FDG-PET/CT imaging. Potential tool for diagnosis of breast cancer. *Clinical Radiology* 63: 1213-1227, 2008.
  31. Hayashi M, Murakami K, Oyama T, Domeki Y, Hagiwara S, Katsumata D, Sunagawa M: PET/CT supports breast cancer diagnosis and treatment. *Breast Cancer* 15: 224-230, 2008.
  32. Tateishi U, Hosono A, Makimoto A, Nakamoto Y, Kaneta T, Fukuda H, Murakami K, Terauchi T, Suga T, Inoue T, Kim E. E: Comparative study of FDG PET/CT and conventional imaging in the staging of rhabdomyosarcoma. *Annals of Nuclear Medicine* 23: 155-161, 2009.
  33. Kuwabara Y, Koizumi K, Ushijima Y, Kinuya S, Kinomura S, Suga K, Takeoka H, Takeda T, Toyama H, Arai Y,

Nishiyama Y, Murakami K, Morita K: Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007. Annals of Nuclear Medicine 23: 209-215, 2009.

#### 和文

1. 谷澤豊, 中郡聡夫, 小西大, 高橋進一郎, 古瀬純司, 石井浩, 村上康二, 木下平: 膵臓癌切除後再発に対する, Fluorine-18-2-fluoro-deoxy-D-glucose positron emission tomography (FDG-PET)の有用性の検討. 膵臓 19: 384-389, 2004.
2. 小曾戸圭子, 大森光治, 伊藤好夫, 柴田秀郎, 村上康二, 高橋克彦, 巽伸一郎, 倉橋正浩, 越川千秋: PETセンターホットラボにおける線量率分布と従事者の被ばく線量低減の工夫. 医療薬学 33: 23-29, 2007.

#### 【症例報告】

#### 欧文

1. Okuno T, Fu K, Sano Y, Yoshino T, Murakami K, Ochiai A, Yoshida S: Early colon cancers detected by FDG-PET: A report of two cases with immunohistochemical investigation. Hepato-gastroenterology 51: 1323-1325, 2004.
2. Shimoda M, Iso Y, Tomita S, Fujimori T, Murakami K, Sawada T, Kubota K: Middle bile duct cancer with portal vein tumor thrombus. World Journal of Surgical Oncology 6: 2008.

#### 【総 説】

#### 和文

1. 村上康二, 北村秀秋, 佐藤敬, 福喜多博義, 平山昭: FDG-PET検査でがんを見誤らないようにするには? 臨床放射線 49: 847-854, 2004.
2. 村上康二: 肺癌診断-FDG-PETの誤診を防ぐ方法-. Digital Medicine 5: 62-64, 2004.
3. 中島寛人, 村上康二, 那須克宏, 黒木嘉典, 塚本達明, 林孝行, 関口隆三, 縄野繁: 特集 胆膵領域における画像診断の最新情報と今後の展望 MRIによる膵胆道癌の診断: MRCPによる新しい展開-三次元 cholangiopancreatoangiography (MRCPA)-. 胆と膵 25: 653-661, 2004.
4. 宮川国久, 森山紀之, 魚住淳, 村上康二: これだけでわかる画像による悪性腫瘍の病期診断-食道-. 臨床画像 20: 42-51, 2004.
5. 村上康二, 黒木嘉典, 縄野繁, 北村秀秋, 佐藤敬, 平山昭: 融合画像の現在とこれから 1. PETとCTの融合画像 PET-CTの消化器腫瘍への応用. 36: 1308-1313, 2004.
6. 村上康二: CT, MRI, PETによる小膵癌の診断. 膵臓 19, 584-592, 2004.
7. 村上康二: 大腸癌の診断 消化器外科 28: 685-691, 2005.
8. 村上康二, 北村秀秋, 佐藤敬, 平山昭: 講座-PET/CT-. RADIOISOTOPES 28: 153-160, 2005.
9. 村上康二: 消化管疾患の診断と治療-最近の進歩- Multidetector-row CT, Virtual CT, PET. 最新医学 60: 1137-1144, 2005.
10. 村上康二: 肝転移の画像診断の進歩-PET-. 消化器画像 7: 489-495, 2005.
11. 村上康二: 知っておくと役立つFDG-PETの読み方・使い方 腹部領域. 画像診断 25: 1129-1140, 2005.
12. 村上康二: 消化管腫瘍とFDG-PET. 総合臨床 54: 2460-2467, 2005.

13. 村上康二: PET利用の手引き -各種疾患とPET- 7, 原発不明癌, 臨床医 31: 1570-1574, 2005.
14. 村上康二: FDG-PETの基本原理と適応 -腫瘍イメージングを中心に-. Medical Science Digest. 31: 466-469, 2005.
15. 村上康二: PETによる転移性病変と原発早期癌に対する診断 -消化管癌-. 臨床画像 21: 52-60, 2005.
16. 村上康二: 癌画像診断に応用したPETの活用法. 日本胸部臨床 65: 1月10日 2006.
17. 村上康二: 肝疾患の画像診断: 最近の進歩と将来展望 5. PET診断. 肝臓. 47: 203-208, 2006.
18. 村上康二: 特集 外科領域におけるPETの意義と臨床応用 1. 総論. 臨床雑誌外科 68: 621-626, 2006.
19. 山崎英玲奈, 村上康二, 萩原信悟, 林光弘, 橋本禎介: 5. 核医学検査の実際とその役割 乳房温存療法に対するFDG-PETとシンチグラフィの有用性についてINNERVISION 21: 26-29, 2006.
20. 萩原信悟, 村上康二, 山崎英玲奈, 砂川正勝: 特集 コンセンサス癌診療におけるPET診断の位置づけ 6. 肝胆膵癌におけるPET診断の意義. コンセンサス癌治療 5: 148-153, 2006.
21. 村上康二: FDG-PETの基礎とがん検診における現況. 山形県医師会雑誌 32: 15-21, 2006.
22. 村上康二: PETの展望 放射線治療への応用. Pharma Medica 24: 63-66, 2006.
23. 萩原信悟, 村上康二, 藤田昌紀, 山崎英玲奈, 伊藤友一, 渡辺理, 椿昌裕, 砂川正勝: 特集 大腸がん診療と放射線医療 FDG-PET. 臨床放射線 51: 1709-1717, 2006.
24. 萩原信悟, 村上康二, 山崎英玲奈, 椿昌裕, 砂川正勝: 講座 PET-CT. 臨床消化器内科 21: 1799-1802, 2006.
25. 村上康二: 10. PETの上手な使い方 日本胸部臨床 65: 増刊号 s65-s71, 2006.
26. 村上康二: 膵疾患におけるPET. 日本消化器病学会雑誌 103: 1347-1354, 2006.
27. 村上康二, 吉川京燦: PETによる胸膜中皮腫の診断. 画像診断 27: 49-54, 2006.
28. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像疾患のキーワード<第1回> Double duct sign. 胆と膵 28: 974-975, 2007.
29. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像疾患のキーワード<第2回> Tear drop sign. 胆と膵 28: 1048-1049, 2007.
30. 萩原信悟, 村上康二, 山崎英玲奈, 砂川正勝: 胆・膵領域の画像診断最前線<第4回> PETとPET-CTの基礎. 胆と膵 28: 51-56, 2007.
31. 鈴木一史, 山崎英玲奈, 萩原信悟, 村上康二: PET/CTを用いた三次元画像の有用性. INNERVISION 22: 92-93, 2007.
32. 村上康二: 骨軟部腫瘍における画像診断の進歩 PETとPET/CT. 骨・軟骨・靭帯 20: 157-167, 2007.
33. 北島一宏, 村上康二, 萩原信悟, 山崎英玲奈, 楯靖: 胆・膵領域の画像診断最前線 (第5回) 胆・膵領域におけるFDG-PETの臨床応用. 胆と膵 28: 223-230, 2007.
34. 村上康二: PET機器の進歩と臨床応用. 最新医学 62: 1208-1215, 2007.
35. 儀幸博, 澤田登起彦, 窪田敬一, 村上康二: 膵癌診断におけるPET-CTの有用性. 医学のあゆみ 222: 42-44, 2007.
36. 百目木泰, 萩原信悟, 村上康二, 山崎英玲奈, 北島一宏, 椿昌裕, 砂川正勝, 下田貢, 降旗正, 窪田敬一: 臨床例で学ぶPET/CTの診断ストラテジー: 7. 大腸・小腸. INNERVISION 22: 51-56, 2007.
37. 北島一宏, 村上康二, 萩原信悟, 山崎英玲奈, 楯靖: 子宮頸癌・体癌におけるFDG-PET/CTの臨床応用. Mebio 24: 81-87, 2007.
38. 林光弘, 砂川正勝, 村上康二: 乳腺におけるPET/CTの有用性. Mebio 24: 26-33, 2007.
39. 村上康二: 肝領域の画像診断-PETによる肝の最新画像診断-. 臨床画像 23: 890-899, 2007.
40. 村上康二: 肝胆膵における画像診断の新展開 PET/CTによる融合画像の診断と応用. 肝胆膵 55: 599-606, 2007.
41. 百目木泰, 村上康二, 萩原信悟, 山崎英玲奈, 北島一宏, 椿昌裕, 宮地和人, 佐々木欣郎, 砂川正勝: 新時代の消化管診断-PETと消化管診断-. 臨床放射線 52: 1351-1361, 2007.
42. 北島一宏, 楯靖, 百目木泰, 山崎英玲奈, 村上康二: FDG-PETの臨床 -肝・胆-. 臨床画像 23 (増刊号 11):

- 114-121, 2007.
43. 村上康二: 肝胆膵領域における造影PET/CTの有用性. 消化器画像 9: 563-569, 2007.
  44. 村上康二: 腫瘍内科診療データファイル「悪性腫瘍診療を取り巻く環境を知る」-画像診断の進歩-. 臨床雑誌 内科 100: 1021-1029, 2007.
  45. 村上康二: 消化管腫瘍におけるPET診断. 老年消化器病 19: 107-112, 2007.
  46. 村上康二: 膵炎・膵癌 up to date: 画像診断; PET. Pharma Medica 26: 45-50, 2008.
  47. 北島一宏, 村上康二, 山崎英玲奈, 百目木泰, 楫靖: 肺癌診断-最近の動向- 肺癌診療におけるFDG-PET (PET/CT) の役割. 呼吸器科 13: 147-153, 2008.
  48. 北島一宏, 村上康二, 山崎英玲奈, 楫靖, 百目木泰, 林光弘, 砂川正勝: 乳癌におけるFDG-PET (PET/CT) の有用性. 画像診断 28: 322-331, 2008.
  49. 北島一宏, 村上康二, 山崎英玲奈, 百目木泰, 楫靖: 特集-肺がん診断-最近の動向 肺癌診療におけるFDG-PET(PET/CT)の役割. 呼吸器科 13: 147-153, 2008.
  50. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像疾患のキーワード<第3回> Capsule-like rim (自己免疫性膵炎). 胆と膵 29: 78-80, 2008.
  51. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像疾患のキーワード<第4回> Penetrating duct sign. 胆と膵 29: 172-173, 2008.
  52. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード Central dot sign <第5回> (胆嚢腺筋症). 胆と膵 29: 260-261, 2008.
  53. 村上康二, 北島一宏, 山崎英玲奈, 百目木泰: CT Colonography (4) PET-CT Colonography とは -原理、処理された画像の種類-. 早期大腸癌 12: 161-166, 2008.
  54. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード Central dot sign <第6回> (カロリー病). 胆と膵 29: 360-361, 2008.
  55. 村上康二: 大腸の新しい画像診断 PET (PET/CT) による大腸腫瘍性病変の診断. 胃と腸 43: 961-968, 2008.
  56. 百目木泰, 村上康二, 山崎英玲奈, 北島一宏, 岸本グスタボ, 宮地和人, 佐々木欣郎, 砂川正勝: 食道疾患の臨床 update 第6章食道癌 7. PETの意義 23 1005-1012, 2008.
  57. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード<第7回> Diffusion weighted image (拡散強調画像). 胆と膵 29: 452-455, 2008.
  58. 金親克彦, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード<第8回> Fat Suppression MR Imaging (脂肪抑制画像). 胆と膵 29: 564-566, 2008.
  59. 北島一宏, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード<第9回> 3 Tesla MRI (テスラ). 胆と膵 29: 658-660, 2008.
  60. 金親克彦, 村上康二: 胆・膵画像診断のキーワード<第10回> Gd-EOB-DTPA (肝胆道用MRI造影剤). 胆と膵 29: 772-775, 2008.
  61. 村上康二, 北島一宏, 山崎英玲奈, 松浦晃: 特集/ここまでわかる消化管疾患の画像診断 PET-CT colonography. 成人病と生活習慣病 38: 1085-1089, 2008.
  62. 村上康二: ミニ特集 肺癌の縦隔リンパ節転移診断-画像と内視鏡診断「PET-CT」. 気管支学 30:347-353, 2008.
  63. 村上康二, 山崎英玲奈, 北島一宏, 松浦晃: 大腸癌遠隔転移の治療方針: PET/CTによる画像診断. 大腸癌Frontier 1: 269-273, 2008.
  64. 松浦晃, 村上康二, 平石秀幸: PET、PET/CTの原理と評価法. 臨床消化器内科 24: 277-282, 2009.



65. 村上康二, 山崎英玲奈, 北島一宏, 松浦晃: 肝細胞癌の診断と治療-最新動向と将来展望- PET. 臨床放射線 54: 357-366, 2009.
66. 北島一宏, 村上康二, 山崎英玲奈, 楫靖, 百目木泰, 椿昌裕, 砂川正勝: 大腸癌画像診断の最先端 2. 大腸癌の存在診断 (4) PET b. 大腸癌におけるFDG-PET (PET/CT) の臨床的有用性. INTESTINE 13: 154-161, 2009.

### 【その他】

#### 和文

1. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第2回PET入門(臨床編). 日本医事新報 4177: 53-56, 2004.
2. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第3回 肺癌術後のCEA上昇. 日本医事新報 4182: 53-56, 2004.
3. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第4回食道がん治療後のSCC上昇. 日本医事新報 4186: 53-56, 2004.
4. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第5回胃癌術後のCEA, CA19-9 上昇. 日本医事新報 4191: 53-56, 2004.
5. 村上康二: 新しいがんの検査法 PET. きょうの健康 198: 68-71, 2004.
6. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第6回大腸癌術後のCEA上昇(肺・局所再発). 日本医事新報 4195: 85-88, 2004.
7. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第7回大腸癌術後のCEA, CA19-9 上昇(腹膜再発・その他). 日本医事新報 4199: 53-56, 2004.
8. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第8回胆道癌術後のCEA上昇. 日本医事新報 4204: 53-56, 2004.
9. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第9回膵臓癌術後のCA19-9, CEA 上昇. 日本医事新報 4208: 53-56, 2004.
10. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第10回 乳癌術後のCA15-3, CEA, ST439 上昇. 日本医事新報 4212: 53-56, 2005.
11. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第11回 女性生殖器癌治療後のCA125, CA19-9 上昇. 日本医事新報 4217: 69-72, 2005.
12. 村上康二: 術後腫瘍マーカー高値を示した悪性腫瘍に対するFDG-PETの有用性 第12回 その他の悪性腫瘍治療後の腫瘍マーカー上昇. 日本医事新報 4221: 69-72, 2005.
13. 村上康二: PETによるがん診断 Medico 36: 334-336, 2005.
14. 村上康二: 特集 最近の画像診断の進歩-CT, MRI, PET-トピックス PET-CT. 日本医師会雑誌 134: 1712, 2005.
15. 村上康二: がんの新しい診断法「PET」. 37: 4, 2006.
16. 村上康二: 特集 PETと消化器疾患. GI Research 14: 429, 2006.
17. 村上康二: 特集 核医学の新たな展開 序説. 映像情報メディカル 38: 1043, 2006.
18. 萩原信悟, 村上康二, 山崎英玲奈, 椿昌裕, 砂川正勝: 消化器癌診療におけるPETの役割. medical forum CHUGAI 10: 18-22, 2006.
19. 村上康二: 急速な変貌を遂げるPET/CTの現状と将来-社会的基盤整備の中でのPETの役割-. 新医療 34: 148-150,

2007.

20. 村上康二: 明日への提言-デジタル機器とアナログ診断-. 映像情報メディカル 39 : 743, 2007.
21. 村上康二: ポジトロンCTのがん診断への応用と診断精度向上に関する研究. 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集平成 18 年度 pp291-294, 2007.
22. 村上康二: ポジトロンCTのがん診断への応用と診断精度向上に関する研究. 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集平成 18 年度 pp629-632, 2007.
23. 村上康二: ポジトロンCTのがん診断への応用と診断精度向上に関する研究. 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集平成 19 年度 pp170-175, 2008.